

硫黄鳥島の火山活動解説資料（令和3年7月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄气象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況（図1～4）

27日に実施した、気象庁の海洋気象観測船「啓風丸」による海上からの観測では、グスク火山火口周辺及び硫黄岳火口で、前回の観測（2020年11月）に引き続き白色の噴気が確認されました。また、風下側で硫化水素臭が感じられました。



図1 硫黄鳥島 噴気位置と各図の撮影方向

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧できます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。



図2 硫黄島 硫黄島島の東側の撮影（7月27日）



図3 硫黄島 硫黄岳火山火口の状況（7月27日）
・引き続き白色の噴気（橙点線丸内）が確認されました。



図4 硫黄島 硫黄岳火山火口の状況（7月27日）
・引き続き白色の噴気（橙点線丸内）が確認されました。